

令和 8 年 10 月 30 日

環境森林部フォレスターアカデミー教務課 担当：迫田・清水

ダイヤルイン：0746-42-8100

奈良県フォレスターアカデミーの取組が 「2026 年度グッドデザイン賞」を受賞 — 紀伊半島大水害を契機に生まれた、全国初の「官民共学」と 「県採用・市町村配属」による森林管理モデルが高評価

奈良県フォレスターアカデミーの「次世代フォレスター育成プラットフォーム」※1 が、このたび 2026 年度グッドデザイン賞（主催：公益財団法人日本デザイン振興会）を受賞しました。

本取組は、平成 23 年紀伊半島大水害を契機とした「画一的な森林管理から『適地適木・適地適業』への転換」という課題に対し、行政と民間が現場で共に学ぶ「官民共学モデル」と、全国初の「県採用・市町村配属スキーム」という仕組みのデザインによって、長年の構造的壁であった「市町村現場の専門職不在」と「行政と現場の深刻な分断」を解消した点が評価されました。

当アカデミーでは今回の受賞を契機に、現場起点の持続可能な森林管理のモデルとして、奈良から広く社会へ発信し、人材育成の取り組みをさらに推進してまいります。



< 受賞概要 >

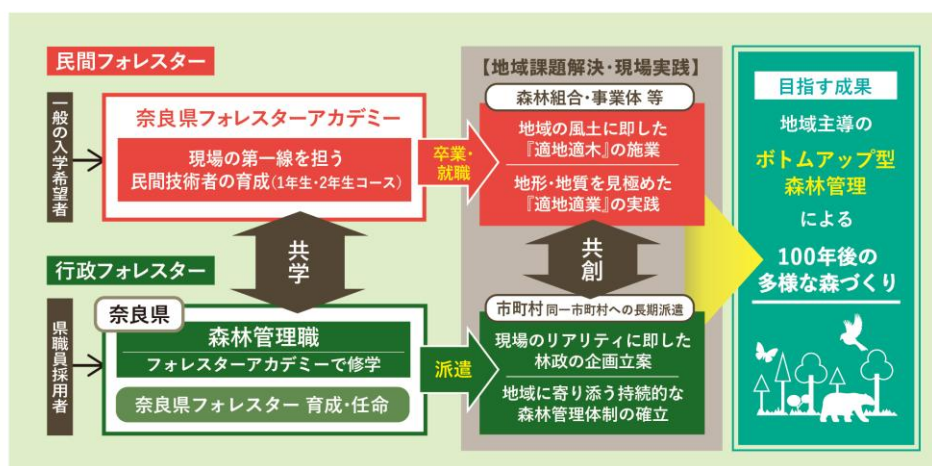
□ 受賞対象名：次世代フォレスター育成プラットフォーム※1

□ 受賞対象の概要：地域の風土に寄り添い、100 年先の森林を長期的にデザインするプロフェッショナル「フォレスター」を育成・輩出する官民協働の社会実装システム。①行政職員と民間事業者が机と現場を並べて学び「共通の視座」を育む教育デザイン、②県が一括採用して各市町村へ長期派遣し専門職不在を解決する雇用デザイン、③卒業後も地域主導の施業計画を共に推進する共創デザインの 3 本柱で構成されています。

□グッドデザイン賞審査委員による評価コメント

日本の最大の課題の一つである森林資源の利活用と運用について、行政職員の育成と民間の担い手を一体で教育することで、政策から実践まで共通の問題意識を持つことが可能となるという発想は極めて理に適ったものであり、大変期待ができる。適地適木、適地適業、多様な森づくりなどこれからの森づくりに欠かせない視点を育んでいる点は高い評価ができる。開校から 5 年ですすでに具体的な数として実績がでていることは素晴らしいが、激甚化する自然災害や温暖化の中で、森の課題はますます簡単には解決できない深刻な問題を多数含んでくるはずなので、継続的に現場からのフィードバックを重ねて、学びの内容を高めていくことを期待している。

「100年後の森」を現場から動かす、 官民一体の人材育成&社会実装マップ



官民共学デザイン
官民の異なる入口を統合し、
現場で協働するための
「共通の視座」を育む



雇用デザイン
全国初の「県採用・市町村配属」
により、地域に根ざした
長期森林管理を可能にする



共創デザイン
行政と現場の垣根を越えた
対話を通じ、地域主導の
新たな森づくりを拓く

民間フォレスター及び行政フォレスターの用語に関しては、【注釈】をご参照ください。

□ 背景と直面した「3つの構造的課題」

- ・立地を見極めない画一的施業：自然条件を考慮しない人工林施業と管理放棄による災害リスク増大
- ・市町村現場の「専門職不在」：自治体単独での技術職確保が難しく、長期森林ビジョンが描けない実態
- ・行政と現場の「深刻な分断」：制度を描く行政と森を扱う現場事業体との共通言語・視座の乖離

□ 実現した価値と成果（実績）

次世代フォレスター※2 輩出数：累計 72 名

行政フォレスター※3 配属実績：県内 15 市町村へ展開

奈良発の官民共学・市町村配属モデルは、自治体の専門人材不足や森林管理の行き詰まりを打破する先進的な社会システムとして全国の林政関係者から注目を集めています。

□ デザイン担当者からのコメント

「100 年先へ山を継ぐためには、机上の政策だけでも、現場の作業だけでもなく、双方の視座をつなぐ専門人材が不可欠でした。行政と民間が泥にまみれて共に学ぶことで生まれた『共通言語と信頼』こそが、この仕組みの核心です。この賞を現場で奮闘する 72 名のフォレスターとともに分かち合い、日本の森の未来を現場から動かしてまいります。」

【注釈】

※1 次世代フォレスター育成プラットフォーム：奈良県フォレスターアカデミーでの人材育成の仕組み

※2 次世代フォレスター：フォレスターアカデミー卒業生

※3 行政フォレスター：奈良県フォレスター

※4 民間フォレスター：民間林業事業体等に従事する森林技術者

□ グッドデザイン賞ウェブサイトでの紹介ページ

<https://www.g-mark.org/gallery/winners/37874>

「GOOD DESIGN EXHIBITION 2026」にて展示

2026 年 10 月 31 日（土）～11 月 4 日（水）に開催される「2026 年度グッドデザイン賞」の全受賞対象を紹介するイベント「GOOD DESIGN EXHIBITION 2026」（会場：東京ミッドタウン）にて、本取り組みを紹介する展示パネル等を出展します。

グッドデザイン賞とは

グッドデザイン賞は、1957 年創設の、日本で唯一の総合的なデザイン評価・推奨のしくみです。製品、建築、サービス、システム、地域の取り組みなど、有形無形を問わず、さまざまなものごとを対象としています。受賞のシンボル「G マーク」は、よいデザインを社会に広げるマークとして親しまれています。2026 年度は第 70 回の節目にあたります。

<https://www.g-mark.org/>